は、

県単位を基本とする単独組織として、ム)として、新たに「JR東日本地域

本地域ネットワーク」

オに | 伴

これまでにない同社主導の地域組織日本は、JRグループ協定旅館ホティ

槭(コミュニケーシアル連盟・同東日本

-ションプラットの本地域本部の知

組織フ解散

觀

パートナーは地域にいーは誰だとなった際、、われわれの一番のパ

東日本地域ネ ツ 設置

歓迎だ」
を対して、その他は全くない。

向上させ、

値) をJR

東日本グル

タイムバリ れてからの

れは地域に会いに行くが、地れる存在でありたい。われわ

域の人たちも応援してほし

どういう存在に。

「常に注目され、振り返ら

R東日本地域ネットワークは

地域の人たちから、

するが、

一緒に危機感を持ち

などでサポ

していく」

以後は支社からの相談、調整 のまとめ役としての役割や、

を推進する部署。暮らしは、 が豊かになる地方創生の二つ

観光流動や旅も含めた暮らし

ながら取り組みを進めていき

東日本エリアには良い

くらしづくり・地方創生部門

マーケティング本部・

であり、

お客さまの価値、

活の価値、

地域の価値を上げ

とは。

Z

ケティング本部は、

る。このほか、マーケティン

いくことがミッションとな

つながっていることを宣言す 織の設立は、地域とつながる、 るだけのものではなく、新組 を持っている。情報を提供す

済の活性化は起こらない。今と物の流動が生まれないと経

は持たない。本社は、設立時になる組織であり、本社組織

るための暮らしづくりと地方

各地域、支社が大事

しづくり・

地方創生部門は、

後は、各地域で人口減少、高

齢化という問題がさらに加速

ロツ

リズムも大事だが、

ることでもある」

設置数は。

のか。

「社会的に最低限の基準は

い」が見んに入ってもらいた

業種などで制限はある

さまざまな 禍で鉄道以 次の時代を担うような熱い

思

伝わりきっ

まずはゆるやかな形から始め

を知ってもらいたい。

ていく。ぜひ、地域で頑張り、

できるだけ払拭しながら、ともあるが、そのイメージを

ージを

居が高いという言葉を聞くこ

み、在り方などを聞いた。(聞き手=本社・長木利通)部くらしづくり・地方創生部門の小崎博子部門長に新組織の設立経緯や取り22年度中に順次発足、活動を開始する。今回は、JR東日本マーケティング

コR旅ホ連の解散

発表した。解散の理由につい2023年3月末での解散を ホテル連盟東日本地域本部の 協定旅館ホテル連盟(旅ホ 今年5月、 JRグループ協定旅館 - 解散の理由につい JRグループ

とJR北海道はJR東日本び 日本は日本旅行、JR九州は ており、具体的にはJR東海グループ会社などに移管され 社が実施してきた旅行業は の関係も送客だけでない新た も変わる中、われわれと地域が、時代が流れ、予約の方法 電話で受け付けるものだった 当初は旅館・ホテルの予約は 共に作ってきた組織であり、 87年に国鉄からJRに民営 に伴い発足した組織だ。1 東海、JR西日本、JR四国、 R北海道、JR東日本、 な形が作られてきた。JR各 化後に皆さんの協力のもと、 JR東海ツアーズ、JR西 「旅ホ連は、JR6社(J われわれJR東日本 が旅行業への進出 中でも、 上げる。 る皆さまだということを改め 一番のパ かなり議論した。コロナ禍のき、良い関係性が築けるかは 重視する中、どのような形で地域と共に歩み、つながりを 地域との在り方を議論する て感じた。われわれが今後の 定写真連盟が解散している。 本地域ネットワーク」を立ち 新たな組織として「JR東日 R指定休憩店連盟、 「旅ホ連の解散の前には、

皆さまに理解いただ

屋を中心とした組織だった旅館・ホテル、休憩店は土産

今後は地域を共に盛り上

形で運営していく。

向け

形で運営していく。また、予県ごとの単位で地域に合った

めることはせず、地域ごと、 とから、エリア全体で型には のことだが。

「旅ホ連は契約に基づいた

ク組織として運営されると

フラットな組織となる。運営

は、地域ごとに実情が違うこ

異業種横断型ネットワ

と、また未来に向かい違う形 割を担っている。 ての契約に基づき送客をして いない会社が多くなったこ (22年4月にびゅうトラベル -ビスから名称変更)が役 リズム&セールス つながりを持つ新組織として を重ねた結果、 合ったものを作るために議論 までの旅ホ連とは違う時代に いという相談もあった。これに何かしらの形を残してほし 『JR東日本地域ネットワー 地域からも旅ホ連解散後 地域に新たな

らないことが重要。地域にはと、固定された業種だけに限

熱い思いを持つ人がたくさん

く置き、盛り上

おり、より多くの仲間と共に

断型とした。JR東日本地域歩みたいことから、異業種横

る。

ろで言うと東京支社を除く各

る大きなきっかけとしたい_ 地域の人たちと交流、

口減少での古民家(空き家) の減少や、地域における人

の確立を目指している。

新しいマイクロツー

リズム

増加の課題解決の一環とし

同社は、

青梅線沿線での

て、同沿線で「沿線まるご

しいとこ

既存

R東日本地域ネットワー

京アドベンチャ

ーライン

JR東日本は、青梅線東 とホテル」事業を展開して

駅に出迎えるスタッフ

沿線まるごとホテル事業

会で会長や役員を務める人た

持った人は、ぜひ仲間に加わ

に対して面白そうだと興味を

(青梅—奥多摩駅間) 沿線

東日本の鉄道アセットを活 いる。青梅線を舞台にJR

地域と鉄道を融合した

人口減少での鉄道利用者

ゅうツー

で進めるということを6社、 決定した」 そして地域と相談して解散を

「JR6社が一番心配した -解散決定に当たり、

懸

方を説明する中で理解いただ 地域でそれぞれの今後の在り 性については、 切れてしまうと思われること さまからJRとの関係性が途 だった。旅ホ連解散後の関係 ことは、解散により会員の皆 JR各社が各

ついて。 正式なスター -ト時期に

われ

る。今後の

いことは。

「いろんな話をどんどんぶ

域の人が地域を楽しむマイク つけてほしい。コロナ禍で地 てもらいたい」

地域の人たちに求めた

皆さんにもぜひ頑張っ

サービス『最近では列

契約が23年3月末まであり、 る。旅ホ連の会員に向けては、 では、すでに立ち上がって 異なることもあり、本社から 開始する。地域により事情が年度中に順次発足し、活動を 支社に伝えている。早い地域 は今年度中での立ち上げを各

R東日本では今後、

ク』を立ち上げることとなっ

た

支部総会において各支社から連会員への案内は、旅ホ連各 の概要を説明させていただい R東日本地域ネット

JR東日本主導の地域組織 くし、役員も置かない。地域スットワークでは、会費をな で活躍する誰もが参加できる 立ち上げについては、

会員が安心して移れる。旅ホ 解散までに立ち上がることで

くこととした。組織は、JR域であることから、今回は除 する組織となる」 東日本主導の県単位を基本と 置する。東京は完成された地 「東京を除く全エリアに設

22

り、 まずは ソ でなくいろ まざまな取

ズに入る。 は、一緒にみを理解し くことは、 まなグルー ってもらうことを目指す」 「地域に ブ会社もある。

る。 コロナ 徴や取り組みを知っていただ コロナ禍の約2年半で失 していただいた後にわれわれの取り組 ス創造のネタにな 情報の共有だけで グループ会社の特 盛り上げるフェー 東日本にはさまざ

は、その基礎となる部分をJ

れわれが取り組んでいることい。まずはベースとして、わしてほしいとは考えていな を豊かにしていきたい。Su 月には現場で、6月には本社 で組織改編を行ったが、まだ れてからの人生の中、ライフレンジも加速した。人が生ま の情報の発信、共有『はこビュン』もあ 会員の皆さまにさ われは、鉄道だけ 軍による荷物輸送 取り組みへのチャ 外の事業における り組みについて知 お客さまの暮らし での配信を考えて んなことを可能に -スを保有してお いない。コロナ (顧客生涯価 M A L L POINT O N 今 年 3

のほか、STAT

ca&J

Ř E

ORKやJ

Ř E

22年度中、支社が15地域で設立 熱い人たち仲間に 次世代を担う

進まない。われわれも頑張るして共に頑張らなければ前に

集う人たちが信頼、応援、そ

「JR東日本地域ネットワ

本社の関わり方は。

するために設けられた。くら3事業によるシナジーを発揮

大規模開発などを行うまちづ

トフォーム部門、

ステムを運用する戦略プラッ グ本部の中には、データやシ

くり部門もある」

クは交流の場であり、場に

JR東日本地域ネットワ

ず皆さんのところに行く」

てきてほしい。われわれも必

部門を担う輸送、生活、 今年6月22日に輸送サービス

・Suica部門を融合し、

目信を持ってPRし、向かっ

れも自負しており、皆さんも ものがたくさんあるとわれわ

ととなる。活動はゆるやかだ後はわれわれが責任を持つこわれわれの組織だったが、今 ミュニケーションを取りなが ということ。旅ホ連は会員と いう場を最大限に生かし、コR東日本地域ネットワークと るのはJR東日本が運営する ら進めていく。旅ホ連と異な と言いながらも大きな緊張感

地域を担う後継者に参加を呼び掛ける小崎部門長 ンが、新たな地域活性化、い設、サービス、ソリューシでなく、その他さまざまない 連の会員には、地元の観光協 者、若い人たちにもぜひ仲間 る地域の観光事業者の皆さま 宿泊施設の皆さまを中心とす ジネスの可能性につながる。 にもお声掛けしている。旅ホ 会員には、 れわれが有する駅や鉄道だけ として入ってもらいたい。 ノや、旅ホ連の会員であった その他さまざまな施 JR東日本グル ソリューショ

きが加速している。

、われわれ

しむこともあったが、

社員全

いろいろな制限の中で苦

がたとうとする中、ウィズコ

アフターコロナへの動

を持ち、機運は高まっている。 員が∨字回復への強い気持ち

JR東日本地域ネットワ

するもの。われわれとしては、 次の時代の地域を担う後継 相互理解を 担当者も、 なる社員が抜け、20代、 わ ルドは異なるが、 れわれの支社に

で活躍する地元の熱い人が共 ちも多く、次世代を担う人た と若い人材、面白い人材が多 から想像をかき立てられる。 ちとのシナジーを考えると今 く活躍している。それぞれの に取り組むことで、 今ではベテランと 新しい形 地域 いる

地域の人 たちに向け

に向けて一言いただきたい。 最後に、地域の人たち 頼基盤を構築し、

の皆さまとの関係構築を実現

ークは、地域の皆さまとの信

る。 の地域づくりに昇華すること は間違いないと確信してい コロナ禍が始まり約3年

「JR東日本地域ネットワ ニケー 深める組織として立ち上が ど、幅広くゆるやかなコミュ 配信や対面での意見交換な ムとして、地域のプレイヤ JR東日本の活動情報の ションプラットフォ

趣旨から異なる恐れがある。

みがある場合は、違う形へと 出だしはあくまでも間口は広 置き換えても良いと考えて JRはノックするにも敷 がった取り組 社から説明を行っている」いては、今後の窓口となる支ている。より詳細なことにつ で言えば営業部、新り 再編を行う予定であり、 「今年10 窓口となる部署は。 月以降に順次組織

あったが、

した取り組みも多く

コロナ禍で会合が

は多い。以前は地

もある。 おり、 が話しやすい環境を作ってほみたいことなど、地域の方々 のメンバーとして共に取り組 できる体制を考えている支社 業)統括センターや駅を窓口 口を担う。なお、箇所による 支社にできる地域共創部が窓 JR東日本地域ネットワ が、現場も組織再編を行って 新規に設置された 地域での困り事や 気軽に訪れることが ジネスに取 てもらいた けではない 人、物の流 単位で集ま どう考える――地域 するが、必要があればエリア 「JR東日本グループは、 「まずは県単位でスター

マーケティング本部くらしづくり・地方創生部門

部門長

R東日本地域ネッ 支社にはお願い みもある。I な会員組織 互いがウィ しが鉄則であり、マネタイズ 何かを始めるには ンウィン、三方よ の会員との取り組

いる

あるのか。 あえて高い目標を掲げて挑戦 組みとして考えていることは 出だしはゆるやかで良い。

ワークの設立に当たり、

れも地域も元気になる。まず ティアを求めている訳ではなも必要となる。決してボラン ばビジネスが生まれ、われわく、協働での取り組みが進め

なくなるなど、各支社におい ても話す機会が失われた。J 、の人にうまく使っ り組むほか、多様 動を担っているだ 間交流については 共創す ータビ 地域との連携事例

さとゆめ(東 21年12月に

多く

いということか。

今ではデー

地方創生事業として、同事 展開。 業など地域事業を 線まるごと」を設 協同出資会社「沿 京都千代田区)

地域住民が集落ホッピングを実施 とともに接客、運ながら、地域住民 在型観光を創出す テルは、 J R 東 日 めている。 や古民家を活用 本の交通インフラ 線活性化事業を始 沿線まるごとホ し、本格的な沿

を図りたい」と関係者。
おおがら、地域一体となり
の課題を地域事業も巻き込 ロノミーが楽しめる。 「地域、JR東日本双方

駅長室で駅長体験

体験後は古民家にチェック 案内人が地域を案内する るもの。利用者は青梅線の 食材を活用した沿線ガスト インし、ホテル内で地域の 無人駅でチェックイン後、 「集落ホッピング」を体験。

同プランでは、駅長任命

電

関(統括センター) 社は、 なく、地域により近い現業 先進事例」と話す。 域の窓口だったが、 留線内での列車車内放送 機関が地域と連携し、 の窓口となり調整を行った ドア開閉などができる。 今後、 「従来は、 同社は支社だけで 、支社が地できる。同 が地域 現業機

府電留線体験」のプレミア 甲府運輸区社員が内容を検 礼品の提供を実現。甲府駅、 らJR東日本オリジナル返 う声を受け、連携をしなが 駅での体験などを組み込ん 府市から「JRE 討し、「甲府駅1日駅長&甲 だ返礼品を提供したいとい ムプランを発表している。 」ふるさと納税」に参画し、 JR東日本は、山梨県甲 車出発式、みどりの窓口で の切符発券、構内放送、 式のほか、

出発式の様子

ふるさと納税返礼品

(7)

持続可能な地域づくりへ

持続可能な地域づくりに向けて

新たな業種横断型ネットワーク組織

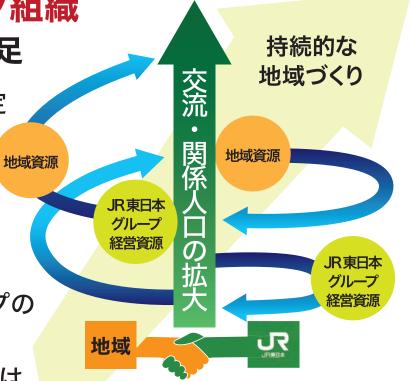
「JR東日本地域ネットワーク」の発足

● 県単位を基本とする15エリアで発足予定

地域とJR 東日本グループをつなぐ ゆるやかなコミュニケーション プラットフォーム

地域社会の発展に貢献し続けるために…

- ▶地域の課題解決に、JR東日本グループの リソースを活用して総合力でサポート
- ▶JR東日本グループでカバーできない部分は、 他社サービスとのマッチングも提案



伴走型地域づくり

「伴走型地域づくり」のステップ

JR東日本グループの総合力で、他社に真似できない新たな価値を創造し、信頼される地域の一員として、持続的な地域づくりを推進=「伴走型地域づくり」を目指す

step 1 地域課題の 把握 地域の皆さまとの対話により 地域の課題を把握

STEP 2 価値創造の 検討 JR東日本グループや地域内外の他社サービス紹介、新たなアイディアの創出を通じ、これまでにない価値創造を検討

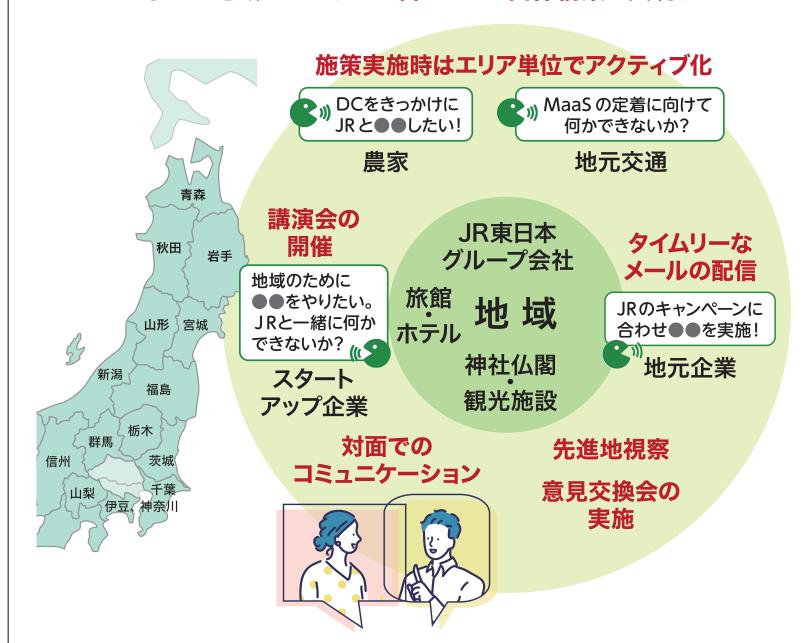
STEP 3 実行

地域の皆さまとともに、取り組みを実行

STEP 4 トレースの 実施・改善 地域の皆さまとともに、実行 策の効果検証を実施 さらなる改善策を検討

JR東日本地域ネットワークイメージ

ゆるやかなコミュニケーションプラットフォームとすることで、 さまざまな地域プレイヤーの皆さまとの関係構築を実現する



JR東日本地域ネットワークと 旅木連との違い 参考

名称	JR東日本 地域ネットワーク	JR グループ 協定旅館ホテル連盟	
主体	JR東日本	宿泊施設・JRグループ	
会員	●宿泊施設・観光施設・ 土産店・交通事業者・ 神社仏閣・農家など ● JR 東日本グループ	宿泊施設	
目的	地域の皆さまとの信頼 関係を構築し、相互理 解を深める	契約に基づく送客	
会費	なし	あり	
活動等	JR 東日本情報の配信 対面による意見交換等	キャラバン等の 誘客活動	

JR東日本地域ネットワーク設置 参数

首都圏をのぞく全エリアに設置

体 制 JR東日本の各支社を事務局に 県単位を基本とする組織

エリア								
神奈川	伊豆	山梨	栃木	群馬				
茨城	千葉	宮城	山形	福島				
岩手	青森	秋田	新潟	信州				

JR東日本地域ネットワークスケジュール 参考

組織名	2022年度				2023年度
祖祖石	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
JR 東日本 地域ネットワーク	順次始動 ★新組織の概要説明・入会案内等実施			· · · · ·	

2021年度内 エリア単位で運営体制など検討。活動開始に向けた各種準備

2022年度 旅ホ連各支部総会において各支社より 5~6月 「JR 東日本地域ネットワーク」の概要説明

2022年度中 順次発足•活動開始